

【肉用牛・繁殖】(香川県さぬき市:芳竹牧場)

- 芳竹牧場は、芳竹氏が平成22年にUターン就農し、父の肥育経営から繁殖経営(黒毛和種)に転換。
- 香川県のICT事業を活用し、発情発見装置と遠隔監視カメラを導入したことで、概ね1年1産を達成し、経営改善と省力化に取り組む。
- 今後は従業員の雇用に取り組むことで、増頭を図り規模拡大を目指す。

<農場概要>

所在地:香川県さぬき市

代表者:芳竹 宣幸

家族経営:本人、妻、父

繁殖経営:繁殖37頭、育成(繁殖)2頭、子牛22頭

<経営の特徴>

- ・子牛は香川県内の家畜市場に出荷。
- ・年間平均出荷頭数は約20頭。
- ・粗飼料は稲WCS(自家3ha、契約70a)を利用。稲わらは自家産の5haを収集。繁殖牛の粗飼料の7割を自給。
- ・堆肥は、JAが米、野菜生産者に委託販売。

<取組の成果>

- ・発情発見装置を導入したことで、概ね1年1産を達成。
- ・監視カメラ導入後は牛舎に行く頻度が減少し、分娩の見逃しを回避。また、外出先からスマホで牛の状況を確認できるため、他の仕事の時間を確保し、省力化に貢献。

